

業界標準プロトコル：FreeD



技術仕様

- ◇重量:0.5kg
- ◇寸法:15 × 10 × 5cm
- ◇電源:24~36V DC / 1.5A

Scorpio ARは、カメラの位置や向き、さらにレンズ情報（フォーカス距離・ズーム値・絞り値）を、イーサネットケーブルと既存のプロトコル（FreeD プロトコルなど）を用いてコンピューターへ送信できるシステムです。これらのプロトコルは、バーチャル制作業界で広く使用されています。

Scorpio ARは、ScorpioクレーンおよびScorpioヘッドからエンコーダー情報を取得し標準プロトコルに変換して、拡張現実（AR）や仮想現実（VR）用のソフトウェアリアルタイムで送信します。

カメラの位置や向きの情報を取得するために、別のトラッキングデバイスを使用する必要はありません。屋内セットでも屋外空間でも、ScorpioクレーンとScorpioヘッドがあれば、**Scorpio AR**だけでカメラの位置をバーチャル化できます。

この位置情報はクレーンを基準としていますが、**Scorpio AR**には、クレーンをバーチャルスタジオ内で正確かつ迅速に位置合わせ・方向設定するための便利な機能も備わっています。

Scorpio ARコントロールボックスには4つのシリアル入力があり、Scorpioヘッド、Scorpio クレーン、Scorpio レンズコントロール、LH300 からの情報を受け取ります。タッチパネル上でクレーンモデルとヘッドモデルを選択し、カメラオフセットを入力するだけで、高精度な情報送信を開始できます。

また、**Scorpio ARコントロールボックス**では、エンコーダーの方向、分解能、寸法、角度など、すべての変数を設定できるほか、カメラのフレームレート（FPS）に合わせて Gen Lock 入力を利用し、各フレームを同期させることが可能です。これにより、グラフィックと実映像の完全な一致を実現します。

システムは非常に使いやすく、カメラオフセット情報を SDカードに保存することもできます。同じ機材を繰り返し使用する場合、カメラ構成を変更しない限り、場所が変わっても再設定の必要はありません。